

在宅避難とは

自宅の安全が確認できたら、原則は在宅避難

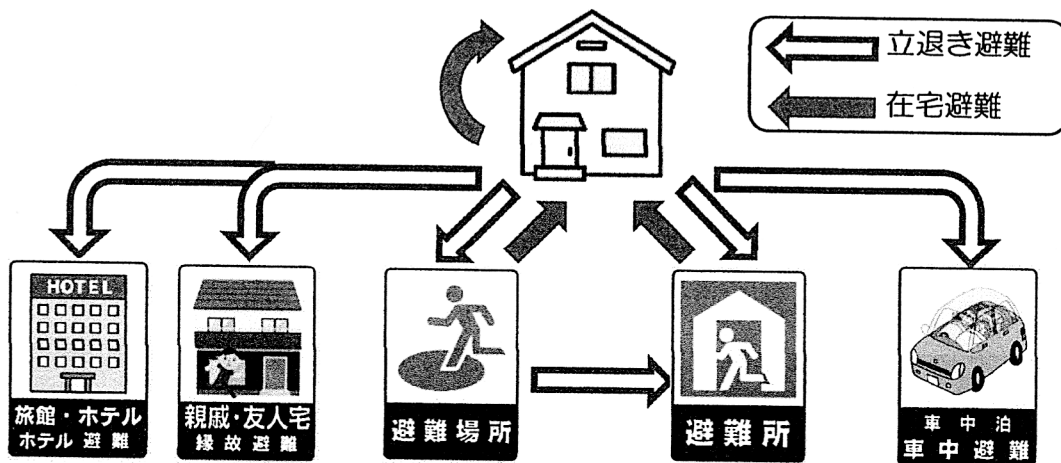
※何かあれば避難所に避難すればよいという

公助への過剰依存がかえって危険を招く事がある。

- ・ 全住民では指定避難所に収容できない
- ・ 自宅からの避難中にリスクを伴う
- ・ 避難所により劣悪な環境でリスクを伴う
- ・ 感染症や衛生上のリスクと常に隣り合せ

安否の通知、水・食品などの配給など支援が受けられるか

備蓄があれば、避難所に入る必要はない。



行政が発する「全員避難」とは、避難が必要な危険な地区内の全員が難を避ける事であり、必ず避難所へ向う意味ではない。

避難場所や避難所に一時避難しても被災していない自宅に戻って避難生活することもお勧めの選択肢です。

2階以上に避難する「上方避難」も在宅避難です。